

科 目 名
建築計画 I Architectural Planning I

1年 前期 2単位 必修

西 郷 正 浩

【科目区分】

学士課程共通の学習効果との対応：1-(2), 2-(4)

情報教育目標との対応：情報活用の実践力

建築学科教育カリキュラムとの対応：

学習・教育目標	JABEE基準 1 の(1)の知識・能力	コース名	必修／選択の別	授業時間
B	—	建築総合コース	必修	22.5時間
	B 1	建築計画コース		
	a, d-1, g	建築構造コース		

【概 要】

建築の「かたち」や「空間」を考える方法には基本的なパターンがあります。この講義では、それらパターンの基本知識について事例を通して紹介します。内容は大きく 4 つテーマで構成しています。①建築の「かたち」がどのように考えられたのか、建築形態の発想方法のパターンを知る。②建築の「空間」はどのようにつくられるのか、構成方法のパターンを知る。③建築の「かたち」や「空間」を定義する際のパターンであるプロポーシヨンの考え方を知る。④抽象的なイメージから具体的な建築へと展開する設計プロセスにおける表現方法のパターンを知る。

【到達度目標】

- (1) 建築設計の発想が多様であることを理解できる。
- (2) 空間という実体のない概念を考えることができる。
- (3) 空間・かたちを構成するという感覚を持つことができる。
- (4) 空間構成の型を今後の設計課題で応用することができる。
- (5) 寸法の意識を今後の設計課題で持つことができる。
- (6) 設計プロセスが抽象から具象の展開であることを理解し、今後の設計課題で適用できる。

【授業計画】

テ ィ マ	内 容
① 建築の発想方法 1	建築形態の発想方法についての典型的な 6 種類について説明する。
② 建築の発想方法 2	上記発想の 6 種類について、さらに事例を紹介し説明する。
③ 建築の発想方法 3	「幾何学的な発想」に着目し、円、三角形、正方形、幾何立体、曲線、曲面について説明する。
④ 空間の構成方法 1	空間構成の基本となる「図と地」について説明する。
⑤ 空間の構成方法 2	2 つの空間の基本的構成方法である「空間の中の空間」「貫入する空間」「共通の空間でつながる空間」「近接する空間」について説明する。
⑥ 空間の構成方法 3	上記「近接する空間」にかかわる「境界」のつくり方について、「見えない壁」をキーワードに説明する。
⑦ 空間の構成方法 4	前回の続きとして「きりながらつなぐ曖昧な境界」について説明した後、「床・壁・天井による空間の構成方法」を説明する。
⑧ 空間の構成方法 5	複数空間の構成方法の大きく異なる方向性として「分割と連結」について、説明した後、分割及び連結の「求心的な構成」を説明する。
⑨ 空間の構成方法 6	連結の「房状の構成」と「線的な構成」を説明する。
⑩ 空間の構成方法 7	連結の「放射状の構成」と「格子状の構成」を説明する。
⑪ プロポーシヨン 1	黄金比と白銀比 ($\sqrt{2}$)、D/H 比について説明する。
⑫ プロポーシヨン 2	モジュールについて、ウィトルーウィウス、コルビュジェ、「匠明」を通して説明する。
⑬ プロセスと表現方法 1	ルイス・カーンと菊竹清訓の設計プロセスの捉え方を紹介した後、抽象から具象へ展開するプロセスと表現について説明する。
⑭ プロセスと表現方法 2	初期の設計プロセスの表現方法について、作成する基本的な図と模型を説明する。ダイアグラム、ゾーンニング図、動線図、ブロック・スラブ模型等。
⑮ プロセスと表現方法 3	CAD/CG によるプロセスの展開、新しいデジタルツールによるプロセスの展開について説明する。授業アンケート／学生自身による自己評価
⑯ 定期試験	授業全般に関する試験を実施する。

【授業方法】

説明と事例紹介で行い、事例紹介は画像・VTRを用いてビジュアル化に勤めます。
3 回のレポートを課します。

【学習到達度の評価】

- 1) 講義中に学生に質問し、また、学生から質問を受け回答し理解度を促します。
- 2) 講義内容に演習の要素を取り入れ、理解度を促します。
- 3) 講義毎に簡単なアンケートを実施し、授業方法への要望を受け改善し、質問を受け回答することで理解度を促します。
- 4) レポートを課し、理解度の確認、復習、発展学習を促します。

【評価方法】

- 1) レポート 30 点、定期試験 70 点で評価します。
- 2) 全授業終了後に学生自身による自己評価を行います。

【関連科目】

1 年：建築計画Ⅱ

2 年：建築設計製図Ⅰ

【教科書・教材】

配付プリント

日本建築学会 編「第 3 版コンパクト建築設計資料集成」丸善

【参考書】

フランシスD・Kチン（太田邦夫 訳）著「建築のかたちと空間をデザインする」森北出版

高橋研究室 編「かたちのデータファイル」彰国社

川崎清他 著「設計とその表現」鹿島出版会

都市デザイン研究体 著「日本の都市空間」彰国社

【履修上の注意】

レポートは提出期限を厳守して下さい。期限後、未提出は 0 点となります。

紹介する事例には、「くまもとアートポリス」参加作品を多く含めています。自主的に実物を見学し、講義内容の確認及び内容を発展させて下さい。

講義内容を手掛かりとして、書籍及び建築専門雑誌に数多く目を通すようにして下さい。

【オフィスアワー】

適宜、昼休み（12:00～1:00）に研究室にて講義内容に関する質問を受付けます。